

校長室だより No 28

2019年3月19日

柏市立酒井根東小学校

校長 梅津 健志

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

「卒業式は6年間最後の授業です・・・」

3月15日に本校第38回目の卒業式を行いました。

当日のHPにも書きましたが、今年の6年生は6年生になって最初に話し合ったことが、「卒業式の目標」でした。「成長した姿を見せて、感謝の気持ちを伝えよう」という目標をたて、最後の授業に相応しい成長した姿とは？どのような式にするか？そのためにどうするのかを話し合い、6年生は1年間の様々な学習や行事に取り組んできました。

運動会では、フラッグを使った表現について、内容や練習方法などを自分たちで考え、話し合い、最後まで実行しました。運動会の応援練習も練習計画を自分たちで立て、いつまでに、どの練習を行い、どのレベルまで達成させるか、と計画的に実行しました。

修学旅行、音楽集会、校外学習とその都度実行委員会が組織され、先生に言われて行うのではなく、自分たちで考え実行し反省し次に生かすというスタンスで取り組んできました。

それが、「成長した姿・・・」につながり15日の卒業式での姿につながったと思います。

卒業証書を受け取る姿、合唱のハーモニー、呼びかけの強弱ある語り、どの姿にも成長した姿を伝えたい、最後の授業として頑張りたい、という一人一人の子供たちの気持ちが伝わってくるものでした。自画自賛ですが、大変すばらしいパフォーマンスを見せてくれました。

その卒業式の朝、例年とは違う二つの光景がありました。

まず、子供たちはブレザーにランドセルを背負って登校する子が大変多く、最後の授業なのだから、普通にランドセルを背負っていくと決めてはどうかという話し合いがあり、最後の授業らしい姿で登校するのはランドセルをという考えが出てきたようです。

次に、和装（着物や羽織はかま）の子がいまいませんでした。これも最後の授業に相応しい服装はどんな服装なのかを話し合い、普段着ていない、着替えが一人でできない“きもの”は相応しい服装から外れたようです。新聞やネットでは、小学校卒業式の和装に対する賛否が話題を呼んでおり、学校や自治体でルールを決める動きも多くなってきているようです。市内でも学校主導で禁止にした学校もあります。本校では子供たちの話し合い「最後の授業として卒業式をどうつくるか」から生まれる考え方を尊重して行きたいと思いません。

学校の行事一つ一つは子供たちの学習の場です。行事を行い成功させることが目的ではなく、行事を成功させようと取り組む中で、子供たちが学習した内容を使い身に付けていけるようにする場所です。

学習の場所ですから、子供たちが選択した普段の服装に近い服装で式に臨むことは正しい判断ですし、ランドセルを背負って小学校最後の日の登校と授業に臨むことも、正しい判断だと思います。

学校行事の日は何か特別な日ではなく、授業＝学習の日と考えて、保護者の皆様のご理解とご協力もよろしくお願ひしたいと思います。

